

令和2年度 外部評価委員会 概要

1 令和2年度の実施状況

- (1) 日時 令和3年2月24日(水) 13:30~15:30
- (2) 長野県林業総合センター 大研修室
- (3) 出席委員 委員長 岡野 哲郎

岡野 哲郎 (信州大学)	島田 保彦 (指導林家)
谷澤 恭子 (中部森林管理局)	宮尾 淳一 (農村工業研究所)
高野 忠房 (麻績村長)	丸山 弘子 (建築士)
宮崎 正毅 (県木連理事長)	福田 久 (元農業改良普及協会常務)

武田孝志委員、高田幸生委員欠席

2 協議内容

- ・「林業総合センター基本計画」(案)について
- ・令和3年度試験研究課題について

(1) 林業総合センター基本計画(案)について

基本計画書に沿って所長、各部長から説明し、各委員から意見をいただいた。

各 委員からの意見	センターの対応
第1章、第2章、指導部	
意見照会先と意見の内容を教えてほしい	本文中に代表的事例を記載。また計画書をホームページに掲載し、そこへ意見をいただいた団体名を記載する
公民館や企業との関連を深めてほしい 木材に触れる活動を増やしてほしい 学校への出前授業や先生方の研修会を	これからも多くの県民の皆さんと関わっていき たい
育林部	
優良な苗木とは、樹種は	抵抗性アカマツとカラマツ
野生鳥獣のジビエ利用について取り組みは	ジビエ振興室と連携して取り組む
気候変動に向けて遺伝子保存に取り組んでは	林木育種センターと連携して取り組む
特産部	
マツタケ菌の共生樹種、アカマツ以外の樹種 も研究しては	必要に応じ検討

おいしいナメコの評価はどのように	現在、試験研究に取り組んでいる
精油は商品化ができればインパクトがあるので進めてほしい（要望）	記載内容を修正
共生苗木によるマツタケ、10年後何本できる	苗木の養成中であり、期間内での発生は難
木材部	
縦方向の圧縮強度について	記載内容を修正
真冬の建築、狂いが大きかった。外構材の開発、改良大いに期待	
乾燥材と熱処理木材の違いは	脚注で説明を追加
木は腐るなどの弱点について、研究、改善してほしい	高品質木材開発の中で取り組む
全所の取り組み、全体を通じて	
バイオマスは未利用材の利用が基本では	計画書の記載を分かりやすく修正
多くの県民に見てもらうために、専門用語集をつけては	難解なものは脚注で説明を追記
現状、10年後の計画を数字で示せないか	研究目標としては難しい。上位計画の行政目標をそれに代えたい
災害対策、精油は他の機関と連携して	連携しつつ成果を上げていく
所有者不明の山林対策センターで取り組めないか	林務部全体で取り組む
竹林をコントロールする方法、教えて	今までの研究成果をお示しする
この計画は縦糸で續いたもの。横糸、例えば松枯れとマツタケなど、記載できないか	各部横断の課題として3章5を作成した。この他は計画見直しに合わせ追加していく

(2) 令和3年度試験研究課題について

研究課題一覧にて説明

(3) 委員長総括

各部が何を目指し何を行っているのか、業界内だけでなく一般の人たちにも理解していただきたい思いが入っている。全体が俯瞰でき評価したい。

これから10年、この計画が基本となるが、これに縛られすぎず、新たに生じた課題にも柔軟に対応してほしい。